

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより No.11
平成21年 [2009] 11月1日発行

- 定例会報告……………P2
- 市政を問う（一般質問）……………P6
- 各委員会報告……………P13
- 〔特集〕紀の川市の歴史を散歩Part5……P14

平池の朝やけ（後藤國廣 氏提供）

平成21年第3回定例会

平成21年第3回定例会は、8月28日から9月29日までの33日間の会期で開かれました。

本定例会では、62件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案どおり承認・可決しました。

また、一般質問では、12名の議員が登壇し当面の行政問題を質しました。

平成20年度紀の川市一般会計決算

268億5,538万円
(平成19年度 272億4,322万円)

261億6,988万円
(平成19年度 265億5,528万円)

歳入総額

歳出総額

残業手当 カット

時間外勤務手当について、今まで各部署で計上していたものを人事課で一括管理を行うとともに7月に縮減月間をもうけ、各部署に対して周知をし、全体的に時間外勤務手当の縮減に努めた結果、昨年より2千686万円の削減となりました。



工事中の京奈和自動車道

早く 開通を

京奈和自動車道紀北東道路の用地取得状況については、96%買収は終わっています。

残る未買収の理由としては、相続の問題、提示額の問題等とのことですが、国からの予算、地元の同意等が順調に進んだ場合には、平成24年中には開通の見込みとのことでした。

「青洲の里」を全国に

地域ブランド創出事業として、「青洲の里」を市の地域ブランドの発信基地として行っていきます。

そのために、国の地域力創造アドバイザーの派遣を受け、次の4点につ



青洲の里



- ① 青洲の里の自立運営ができる体制。
- ② 地元関係者との連携システム。
- ③ 提供する商品。
- ④ 明確なコンセプトに基づくイメージアップにつながる事業。

トップセールス

市特産の桃・柿・いちじく・キウイフルーツを売り込んでいくために、トップセールスを市長とJA紀の里組合長がタッグを組み行いました。大都市圏に紀の川市特産の農産物売り込むことにより、市場の方々にトップ自らが取り組んでいる姿勢を示せたことが評価されました。今後は、さらには様々なかたちでメディアへの情報発信に努めます。



柿のトップセールス

歳入

徴収率を アップ

平成20年度決算においては、市税7億9千800万円の収入未済額がありました。市としては自主財源の確保は最も重要なことであり、税の公平負担という観点から一層職員が努力しなければならぬと考えています。

今後は、税の徴収効果があがるよう全庁的關係法令に基づきながら、従来にもまして取り組みをしなければいけないという中で、現年度の徴収率を高めることにより滞納額が減るので、今まで以上に積極的な対応をするよう努めるとのことでした。

平成20年度紀の川市水道事業会計決算 水漏れを探せ

* 有収率が74.5%であり、無駄が生じていますが、無駄が生じているにもかかわらず、実施し老朽管の修繕を行うとのことでした。今後、夜間に漏水調査を

* 有収率
有収率 = (有収水量 / 給水量) × 100
有収水量 = 年間の料金徴収の対象となった水量
および他会計等から収入のあった水量

給水量 = 年間に当該給水区域に対して給水した実績水量。
「この指標は、年間の配水量(給水量)に対する有収水量の割合を示すもので、施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかどうかを確認できる」としています。



水道管修理工事

貴志駅リニューアル

鉄道利用者の利便性向上を図るために、和歌山電鐵が国の補助事業(幹線鉄道等活性化事業)の採択を受けて実施する貴志駅改修、プラットフォーム改修、障害者用スロープ設置に要する費用の3分の1を補助します。(1千333万4千円)



貴志駅のプラットフォーム



たま駅長



青洲まつり会場での木造住宅耐震化相談会

耐震診断を受けてみませんか

木造住宅耐震化を促進するために、国の施策制度拡充により従来の補助金に耐震改修工事費の11.5%を増額措置します。

平成21・22年度の2カ年事業で耐震補強設計についても、対象限度額を設け補助します。(347万2千円)

施設を改修

学童保育施設については、従来から既存施設を有効活用して事業を実施していましたが、保育児童の増加等に対応するため、粉河アットホームク

ラブの給排水施設改修と中貴志こどもくらぶのトイレ・ネットフェンス改修を行います。(365万円)



粉河アットホームクラブ



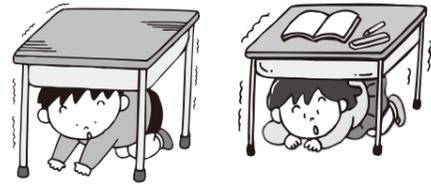
中貴志こどもくらぶ

進む耐震補強

国の経済危機対策(平成21年度補正予算)で追加措置された安全・安心な学校づくり交付金事業の採択を受け、平成22年度実施予定を前倒しして実施します。

○竜門小学校体育館耐震補強(526万5千円)
○那賀中学校校舎耐震補強(1億1千677万2千円)
○貴志川中学校体育館耐震補強(772万円)

○長田小学校校舎耐震補強(1億4千287万8千円)
○中貴志小学校校舎耐震補強(7千263万6千円)



長田小学校校舎



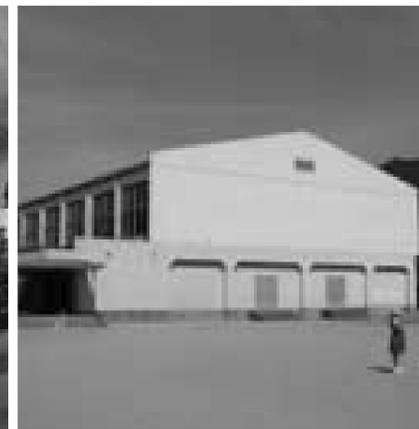
中貴志小学校校舎



貴志川中学校武道館



那賀中学校校舎



竜門小学校体育館

国民健康保険事業勘定特別会計(第2号補正)

妊婦さんに朗報

平成21年10月から平成23年3月までの間、出産育児一時金が国の施策で現行の38万円から42万円に引き上げられることになりました。(112万円)





森田 幾久 議員

緊急性も勘案して、隣接自治区と協議の上、受けている。しかし、集会

地域振興部長

基本的には、自治区を通じての受付となっている。

問

地域要望は自治区から

答 地域振興部長

自治区の数および自治区に属さない地域、未加入世帯数は、

自治区に属さない地域からの要望等の対応は、どうなっているのか。

問

所や防犯灯など、設置後の維持管理が必要で地域の協力を得なければならないものは、自治区からの要望に限って対応する。

答 総務部長

避難場所等を示したハザードマップを配布しているが、緊密な連携が取られていないところもある。

地域力が必要

答 市長

自治区未加入世帯に対する紀の川市の考えは、

境対策など地域における課題が増大している。地域コミュニティ活動が重要と指摘されているなか、自治区の活性化に早急に取り組む。

自治区の最低戸数は、決まっていないが、隣接の現存する自治区への加入が好ましいと考える。



井沼 武彦 議員

JA・商工会と連携しながら農作物の加工開発を

問

農作物の加工品を研究開発できないのか。

答 農林商工部長

市長が農作物のトップセールスを行っている。また、柿・桃・みかんを台湾・シンガポール・ロシア・ドバイ等に輸出を推進している。

元気がでる農業を

問

地球温暖化により天候不順となり夏果実の出荷が短期集中となり価格も安定せず農家の栽培意欲がなくなっている。紀の川市として農作物への支援をどのように考えているのか。

答 農林商工部長

農家の女性が元気をだしてくれることが、農業活性化につながる。食育のまち紀の川食育メニュー、宿泊体験プログラム開発を通じ元気がでる取り組みを進める。

問

日頃から大雨・台風・土砂災害を想定して訓練しているのか。

答 総務部長

市として、防災体制の万全を期するため、紀の川市地域防災計画で各災害対策を定め、防災訓練を行っている。

災害からどう守るのか

答 市長

国土交通省に対し、紀の川河川内や貴志川との合流部分の樹木伐採と、住民の安全を守るため岩出井堰の改修要望を行っている。



岩出井堰

いっぱん質問

市政を問う

森田 幾久 議員

•自治会のあり方について

遠藤 守 議員

•中村市政二期目の出馬にむけた抱負を問う

井沼 武彦 議員

•農業への支援について
•ゲリラ豪雨からどう守るのか

岡田 勉 議員

•高齢化社会への対応について

川原 一泰 議員

•介護タクシーの使用方法について

坂本 康隆 議員

•有害物質アスベスト（石綿）について
•農産物の振興策について

吉田隆三郎 議員

•災害対策の推進について

石井 仁 議員

•市政発足後4年間の市民サービスの到達と今後の課題について

寺西 健次 議員

•下水道について

西川 泰弘 議員

•地方自治体（紀の川市）への分権について
•農業振興地域の整備に関する法律について（運用の問題）

今西 敏文 議員

•紀州富士龍門山の環境整備は
•ため池の治水対策、防災対策は

大森 道夫 議員

•中山間地域等直接支払交付金制度の今後の見通しについて

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。
なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。
くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 77-0892）



寺西 健次 議員

合併浄化槽と公共下水道等の集合処理に要する経費の比較を行い、合併浄化槽区域と集合処理区域を色分けし、適正で効率的な下水道事業を進めていきたい。

建設部長

問 下水道基本構想見直し案が示されたが、どのように見直しをするのか。

答 建設部長 加入状況は200件であり、現在認可取得している区域の整備目標年度は、平成27年となっている。

問 下水道事業が供用開始されたが加入状況は。また、今後の計画はどうか。

公共下水の加入状況は

問 浄化槽設置の補助金の今後の動向は。

切畑・遠方地区を検討対象として考えていきたい。当面、東川原・西川原・浄化槽との整合性を図り、下水道事業と合併

建設部長

問 農業集落排水事業をどのように推進するのか。

答 農林商工部長 農業集落排水事業は、農村の生活環境の改善と用排水の改善を通じて、農業生産の向上を図ることが特徴で、

地域の方と十分相談をさせていただきながら、積極的に汚水処理対策に取り組んでいきたい。

市においては、新築分を補助対象外とすることを検討されていると聞いていますので、国・県の動向を見て検討したい。

市長

問 市全域の早期の汚水処理対策を問う。

答 市民部長 公共下水道等の区域以外の市内全域を補助金対象地域とし、浄化槽を設置する者に対し、補助を行なっている。



下水道工事の風景



今西 敏文 議員

龍門山は、歴史上の価値だけでなく、磁石岩やキイシモツケやギフ蝶などの自然環境にも恵まれた山であるが、手軽なハイキングコースとしても観光面でも重要な役割を担っているとして力を入れていきたい。

市長・農林商工部長

問 今年4月に県の自然公園特別地域に指定された、紀州富士龍門山は、ハイキングコースとして注目され、年間4万人以上が登っている。また、磁石岩の天然記念物やギフ蝶・キイシモツケ・風穴など、自然科学的な宝庫としても、有名な山であるが今後の環境整備は。

答 市長・農林商工部長 2,300万円かけて整備する

ため池の治水・防災対策については、昨年5月の桃山町の災害を教訓として、市内のため池の防災対策について、積極的

また、平成22年から自然環境整備事業により2,300万円かけ自然に配慮しながら、県と相談し登山道、遊歩道の整備、案内板設置などを進めていくとともに、今後はトイレの設置についても考えていきたい。

市長・農林商工部長

問 市内786ヶ所のため池防

また、平成22年から自然環境整備事業により2,300万円かけ自然に配慮しながら、県と相談し登山道、遊歩道の整備、案内板設置などを進めていくとともに、今後はトイレの設置についても考えていきたい。

地元負担金軽減へ

また、安全安心の面から今後、市として地元負担金軽減については前向きに検討し、地域の皆様に一年でも早く協力いただき、改修していき

また、安全安心の面から今後、市として地元負担金軽減については前向きに検討し、地域の皆様に一年でも早く協力いただき、改修していき

市長

また、安全安心の面から今後、市として地元負担金軽減については前向きに検討し、地域の皆様に一年でも早く協力いただき、改修していき



川原 一泰 議員

介護タクシー使用方法

要介護4・5の方と付添人を一緒に介護タクシーに乗せることに各自自治体間でなせらつきがあるのか。紀の川市では、乗せられないのか。

保健福祉部長

要介護4・5の方の外支出援サービスは、一般のタクシーや乗用車に乗って通院等しにくい車椅子など必要とする方が主な対象となっている。この場合、家族の方も一緒に横に乗って利用できる。また、自己負担も不要となっている。



介護タクシー

分理解できるが、安易に付添を容認した場合、付添される方の都合を中心に考えて利用されるというケースも想定されるため、今後可能な限り市の裁量範囲を検討し運用していく。

この制度は、タクシーの運転手が乗り降りや病院での手続きまでやってくれるサービスなので、付添人は必要がないという国からの指針でサービス料千円の一割負担で利用できる。遠距離の場合は、タクシー代金から千円を引いた残金を利用者が負担しなければなら

要介護の状態により、健康状態を医者に伝えられない方や薬の説明が理解できない方など、心情的に付添人の必要性は十分対応したい。

保健福祉部長

今後市として、幅の持った対応をどうしていくのか。

問

災害救助法で貸付制度

保健福祉部長

被災者生活再建の市の支援策と復旧にかかる電気、水道、汲み取り料金の免除はできないか。

問

県、警察、消防組合と相互連絡をとり、自治区自主防災組織等による伝達と広報車、防災無線、サイレン、ラジオ放送での伝達を行い、衛星携帯電話も配備している。

災害対策を万全に

7月の豪雨、8月の台風で各地に大きな被害と犠牲者が出ている。災害時での情報や避難勧告を住民に知らせる伝達システムは完全か。

水道料金は、補助と減免の双方で検討したい。

市長の災害対策の考えは。必要条等は前向きに検討していきたい。学校耐震化も早くしていくことが大切である。避難勧告は非常に難しい判断が必要であり、関係者と相談しながら適切に対応していきたい。

市長

問

災害対策基本法で身体的損害、物的損失が補償の対象になっている。

総務部長



吉田隆三郎 議員

があり、市は見舞金を支給している。市独自の支援策は財政上難しい。電気料金は、支払期限の延長や基本料金の免除が講じられる。汲み取り料金は5千円までの補助を実施している。



山腹崩壊危険地の施設 (白水園)



坂本 康隆 議員

有害物質アスベストに対しての認識と、市民への安全対策をどのようか考えているのか。

石綿は「静かな時限爆弾」

有害物質アスベストに対しての認識と、市民への安全対策をどのようか考えているのか。

学校での校舎解体工事に伴い石綿調査や解体処理計画をたて、児童の安全、近隣住民への安全対策は。

最近食品産業で注目されている。紀の川市に導入するこ

電磁冷凍（セルラライブシステム）という冷凍技術は、細胞を生かし長期保存可能な新技術であり、導入することにより、農産物の販路拡大に役立つと思うが、研究する考えは。

農産物にビジネスチャンス

とを考えた場合、桃・柿の加工品への適用が考えられる。JAや商工会と連携し説明会を開催し紀の川市に導入の可能性を検討したい。



解体される安楽川小学校

の注意を払い児童や近隣住民の安全確保に十分配慮したい。

CASを生産しているアビー社の社長にお会いした。大きな可能性を秘めた製品であり、調査研究を進めたい。



石井 仁 議員

旧5町の合併による市民サービスの効果として、地域課題の一体的解決が可能になったこと、市民の生活ニーズへの対応が広がったこと、高度な行

子どもの医療を無料に

中村市長も、4年前の市長選のマニフェストで子育て支援として、「満15歳以下の医療費の個人負担0円」として、政策をもたれている。特にいま、経済情勢が厳しいなかで親の経済状況に左右されずに、どの子ども医療



が、年齢に関係なく全て無料」という、ほとんどの自治体で実施していない、紀の川市独自の子育て支援策にも意欲的に取り組んでいる。

前向きに検討する時期ではなからうかと思っ



遠藤 守 議員

政権交代の影響は

8月30日投票の衆議院選挙の結果、民主党政権へと変わったが、地方自治をなう市長としてどのように対応するのか。

政権与党にどこがなっても地方自治体は国・県からの補助金・交付税で成り立つわけで、時の政権与党についていくしかない。

民間活力の導入

今まで以上に地方自治、地方分権が強まってくると思われが、これからの紀の川市をどのように方向づけるのか。

自治区長さんや市民の方々の協力を得て、長期総合計画に基づく協働の安心・安全なまちづくりを今後とも推し進めていく。

当然民間の方々の力をお借りして今後ともすすめていかなければならぬ。

市民を巻き込んで議会と行政と一体になった紀の川市としていくために改めて市長の抱負を問う。

まずは地方自治の確立が急がれてきているなか、緊迫した財政状況と少子高齢化の波が押し寄せてなお一層の市民との協働が必要となってきた。

第一次長期総合計画に基づいて、今後とも頑張っていく。



岡田 勉 議員

買物が大変 どうする

高齢化社会への対応については、地方自治体として色々な分野からの取り組みが求められている。一つに、商店が店じまいすることによって、高齢者の方は、遠くまで出かけなければ買物ができないという問題がある。粉河本通り（とんまか通り）も地域経済の衰退等により、店を閉める所が増え続けているが、市当局としてこのような問題での高齢者対策についての考えと今後の取り組みは。

基本的な高齢者対策については、行政の役割として、高齢者が自立した生活を送れるように、必要な福祉サービスを提供する。

山間へき地、町中であっても、車に乗れない歩くのも大変という方の対応については、今後の大きな課題としていろいろ相談できる範囲内で進めていけたらと思っ

地域巡回バス・コミュニティバスが高齢者の外出機会を増やしている。アンケート結果でも、利



高齢者の買い物姿

いい施策 ねりに前に

新市発足後4年が経過しようとするなかで、市民サービスの到達と課題をどう総括しているのか。市独自の施策として、紀の川市では、所得制限を設けない乳幼児医療費の無料化の実施や、国民健康保険事業での18歳までの保険証発行など、旧5町時代、また他自治体と比べても、前進している施策もある。これらの前進面と課題をどう捉え、今後どうのぞむのか。

本年度から子育て支援策の目玉事業として「3人目以降のお子さんの保育料

が、年齢に関係なく全て無料」という、ほとんどの自治体で実施していない、紀の川市独自の子育て支援策にも意欲的に取り組んでいる。



西川 泰弘 議員

分権に主体的な対応を

問

中央集権（官僚依存）からの脱却のために地方分権（権限移譲）は必要だと思いが、末端の地方自治体として考えておかなければならない問題も多い。

市は、分権のメリットとデメリットをどのように考え、それにどう対応しようと思っているのか。

答 市長・総務部長

市民にとっては、利便性の向上が図られるのではないかと思うし、市としても、独自性、主体性が活かされると思う。

しかし、市にとっては職員削減計画を進めているなかで、新たな事務量の増加に対応するための財政的負担も多くなる。

また、法的な判断等全て市で対応することになるから、専門的な知識をもつ職員の確保も必要となってくる。

これらに対する財政的な処置は期待する程の額ではないと考えている。

今後、人的配置、財政的措置等具体的な部分については、県と協議していく必要がある。

市としては市民の利益を守るためにも、主張すべき課題については十分県と議論していく。

問

農業振興、特に優良農地を守るため現在策定中の農業振興地域整備計画をどのように活かすのか。

答 市長・農林商工部長

旧5町のバラバラな計画を市として統一することを目的としている



農業振興地域制度のパフレット

る。

紀の川市は都市計画法のいわゆる「練引き」も

されてなく、ほ場整備が進んでいない等の問題があり、優良農地確保の観点から強力な指導を行うことが難しい状況にある。

今後、優良農地確保のため、農用地区域からの除外の厳格化を趣旨として改正された法律との整合性に配慮しながら、市の農業振興協議会で無秩序な農用地からの除外を見越ごすことのないようその基準内容を検討していきたい。



大森 道夫 議員

中山間補助事業の強化

問

中山間地域等直接支払制度はスタートしてから10年が経過し一定の成果があったが実情に即していない面もあり現行対策は21年度が第二期対策の最終年度で22年度以降のあり方について、農林水産省は同制度検討プロジェクトを設置し、去る7月中旬に同制度の

答 農林商工部長

中山間地域等直接支払制度はスタートして10年が経過し一定の成果があったが実情に即していない面もあり現行対策は21年度が第二期対策の最終年度で22年度以降のあり方について、農林水産省は同制度検討プロジェクトを設置し、去る7月中旬に同制度の

市としても従来国との農地懇談会を通じて、より実態に即した制度となるよう提言し今後制度が継続された場合、自由度

の高い交付金を個々の集落が独自の取り組みに活用できるように集落協定の策定時にきめ細かく指導するなど特色ある協定締結に向けて取り組んでいきたい。

高齢農家と集落対策

問

中山間地域で増加している条件の厳しい小規模高齢化集落について、近くの集落と一体となり農用地等を維持していく取り組みを促進する施策を講じてはどうか。

答 市長

中山間地域等直接支払交付金制度の対応については、今後引き続き農林水産省に継続を要望していく。

一集落だけでなくグループ周辺集落高齢化社会に向けて幅広く取り組んで活性化に努めていきたい。

議会広報調査特別委員会 視察研修報告

7月30・31日の両日、兵庫県加東市議会と多可町議会へ視察研修を行いました。

加東市議会の議会広報特別委員会は、7名のメンバーで構成されています。当日は、紙面づくりについてわきあいあい意見交換することができました。

翌日は多可町を訪れたのですが、ここでは議会広報編集特別委員会6名全員が我々の視察に対応してくれました。

「多可町議会だより」は、第28回兵庫県議会広報誌コンクールで優秀賞を獲得しており、町村議会では毎年コンクールが行われていて、いずれの町村議会でも熱心に取り組まれており、今回もあえて賞を獲得した町議会を選んで研修に出向いただけの成果を得ることができました。

多可町議会の委員には、当委員会も学ぶところが多く、有意義な一日を過ごすことができました。



加東市・多可町の議会だより

厚生常任委員会 視察研修報告

7月9・10日の両日、京都府南丹市と兵庫県篠山市へ視察研修を行いました。

南丹市は、日本一ごみの少ないまちとして全国的に取り上げられております。

南丹市では、美しいまちづくり条例を制定しており、180ある自治区から、各地区1名ずつ環境美化推進委員を選任してもらい、その方が地域の環境美化や衛生意識につ



八木バイオエコロジーセンター

いての啓発、指導を行う地域責任体制をとっています。平成18年度の1日1人当りの一般廃棄物処理量は、全国平均では1千131グラムあったのに対し、南丹市では、537グラムでありました。

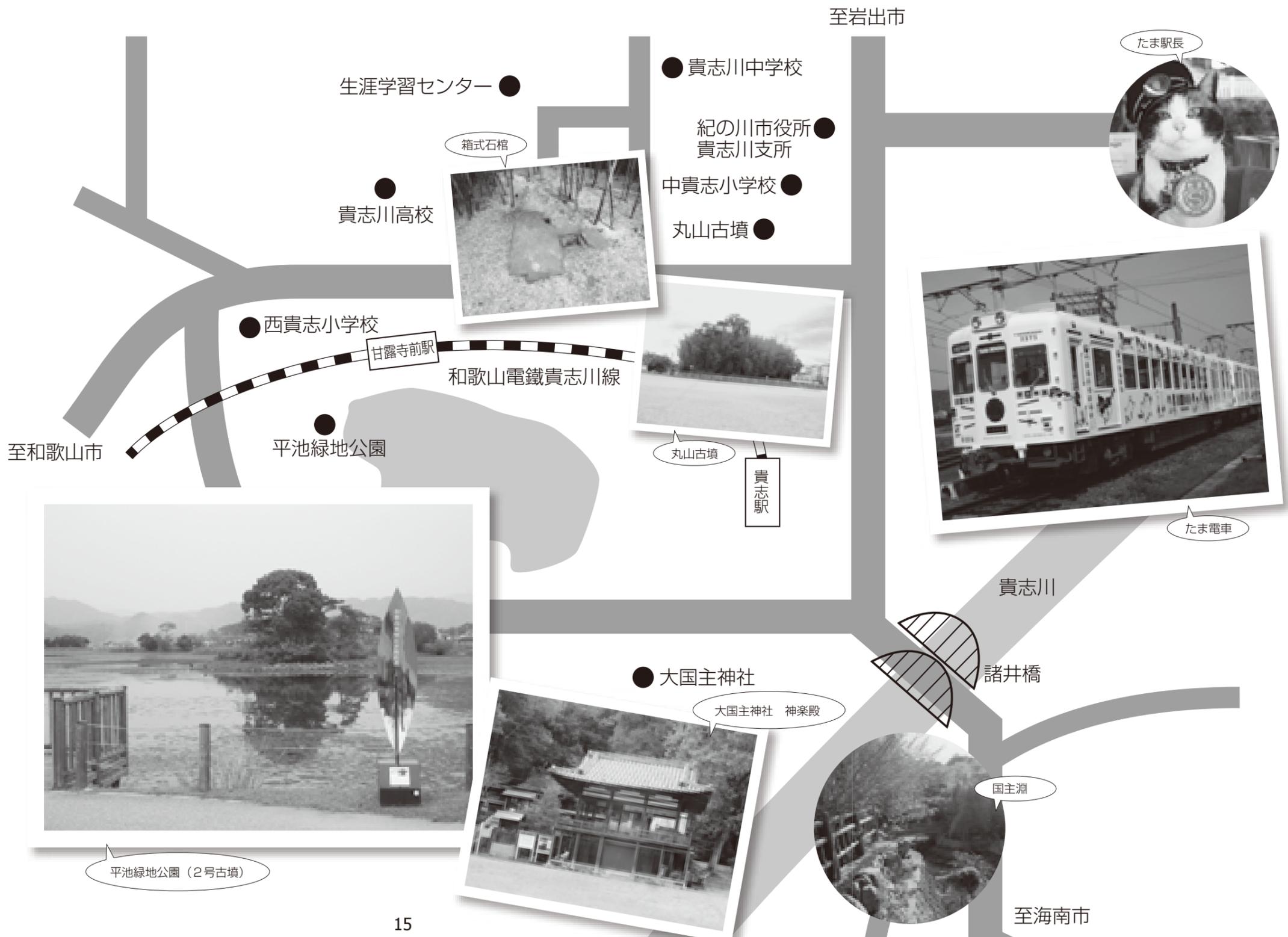
また、酪農の盛んな地域でもあり、家畜のふん

尿、食品工場からの残渣、汚泥などは八木バイオエコロジーセンターに集められ、単に堆肥製造を行なうだけでなく、メタン発酵によりバイオガスに変え、そのガスを用いた発電により施設内の全電力を賄うことで、石油等

々な調査・研究を行なっています。介護予防事業の基本を「集って・動いて・楽しんで」とし、高齢の方が自分で通える範囲内に会場を設定し、事業を継続する事が重要だと考え、介護予防いきいきサポーターの育成をはじめ、地域の9割以上の高齢者が知っている「デカシヨ節」を体操用にアレンジし、「いきいきデカボ」体操と名付け、介護予防体操として住民に広く浸透させるといったユニークな取り組みを行なっていました。

特集 紀の川市の歴史を散歩 Part5

まだまだ、貴志川地区には、歴史あるものがたくさんあり、書ききれないために機会があれば紹介します。



貴志谷の歴史を散歩



紀の川市地域巡回バスや貴志川線のたま電車に乗って来て、「紀州の飛鳥」と言われる貴志谷を歩いてみませんか。

貴志川地区は、名産のいちごを中心にかん・はっさく・柿等の果樹やナス・キュウリ・いんげん・トマト等の野菜ハウス栽培が盛んです。

歴史散歩として、県下で原始時代から最初に人が住んだと言われる平池遺跡と平池古墳群の残る「平池緑地公園」をまずは訪ねてください。



ここは、県下三大用水池の一つで、自然を生かして整備されていて、周りを散歩することにより、心身ともに癒され健康にもつながります。

さらに、健脚な人は県指定の丸山古墳まで足をのばし、近くの双子三味塚古墳や罐子塚古墳を見て歩くのも一興でしょう。

また、弘仁(818年)に創建されたとされる大国主神社・薬師寺にも行ってみましょう。

国主淵(ほたるの名所)には、南朝の石造物があり、諸井堰等を

貴志川

諸井橋

国主淵

至海南市

見て歩くのも意義のあることでしよう。

さらにさらに、少し離れたところには貴志川八幡宮や東貴志の横穴式北古墳群と高尾山古墳群もあり、北に行けば奈良時代に建立されたと言われる北山廃寺跡も見ることが出来ます。

ぜひ一見に値すると思います。

貴志駅前には貸自転車があるので、それを利用していただくのが便利かも：



粉河ミニチェリー (小学生女子)



青洲まつり



流しそうめん



市民まつり



紀の川市防災訓練



長山保育園運動会



スポーツフェスティバル2009での表彰式



編集後記

紀の川市議会発足後1年を経過して発刊された「こんにちは議会です」も早三周年(第11号)を向かえ、私たち編集委員も一旦任期を解かれることになりました。三年間にわたりできるだけ親しみやすく、読みやすく、そしてまた街中の関心ある話題を探して編集してきました。

研修などを重ね第21回近畿市町村広報誌コンクールで優良賞を受賞しましたが、まだまだ満足はいく紙面構成になっていません。さらに、グランプリ獲得に向けてまい進したいと思います。この11月15日の市長・市議の選挙戦で新たな市議会が構成され、編集委員会のメンバーも再編成されますが、新たな編集委員会の下、今まで以上にさらに精進して市民に密着した取材を重ね、議

会と市民とのパイプ役を果たせる記事で発行が待ち遠しく感じる「議会だより」にしていたくださると切望しております。市民の皆さんの協力をよろしく願います。ありがとうございました。またお会いしましょう。(M・E)

議会広報編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 遠藤 守 |
| 副委員長 | 今西 敏文 |
| 委員 | 亀岡 雅文 |
| 委員 | 上野 健 |
| 委員 | 森田 幾久 |
| 委員 | 竹村 広明 |
| 委員 | 村垣 正造 |
| 委員 | 坂本 康隆 |
| 委員 | 西川 泰弘 |